

東海地区型梓工事協同組合

(第12回若手技能者の採用や育成に資する活動に対する助成)

【活動テーマ】

- ・建設業界従事にあたり必要な知識・技術を習得する高等技術
専門校への支援事業

【活動期間】

- ・2022年6月27日～ 6月30日

【発表日】

- ・2024年2月28日

団体概要

【設立】

- 昭和40年愛知、三重、岐阜県を統合し設立した

【目的】

- 組合員の相互扶助の精神に基づき組合員の必要な共同事業を行い組合員の自主的な経済活動を促進し経済的地位の向上を図る
- （一社）日本型枠工事業協会東海支部として活動

活動内容（1）

学生を招いての講習と実習

【背景】

- ・慢性的な労働力不足と技術者の高齢化
- ・若年層の入職率低下

【目的】

- ・学生に我々の業界を理解してもらい興味を持って貰う
- ・一人でも多くの学生に我々の業界を将来の選択肢の一つにして貰う
- ・入職率向上を図る

【経緯】

- ・2017年に当組合理事長と親交のある先生から“建設業界についての理解と型枠鉄筋工事の技術を学べる講習会”を企画して欲しいとの依頼を受けその年の春から1年生を対象にこの活動を開始しました

活動内容（2） 学生を招いての講習と実習

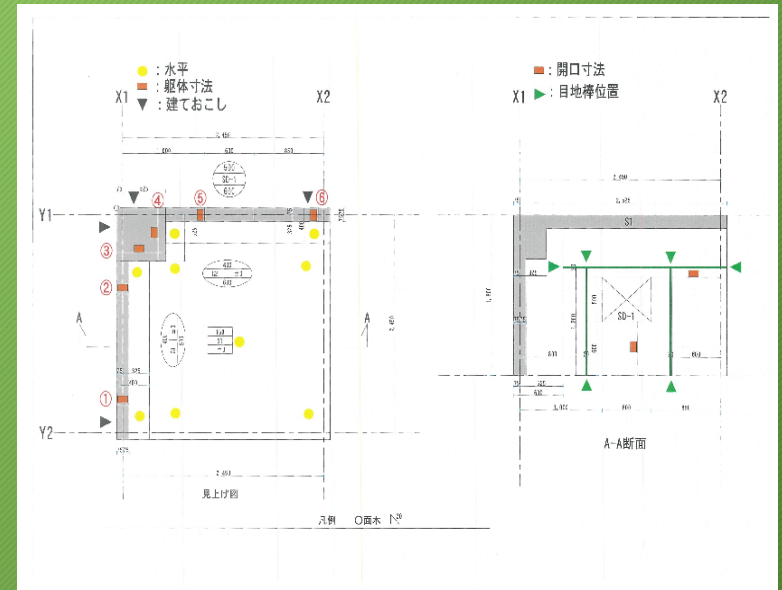
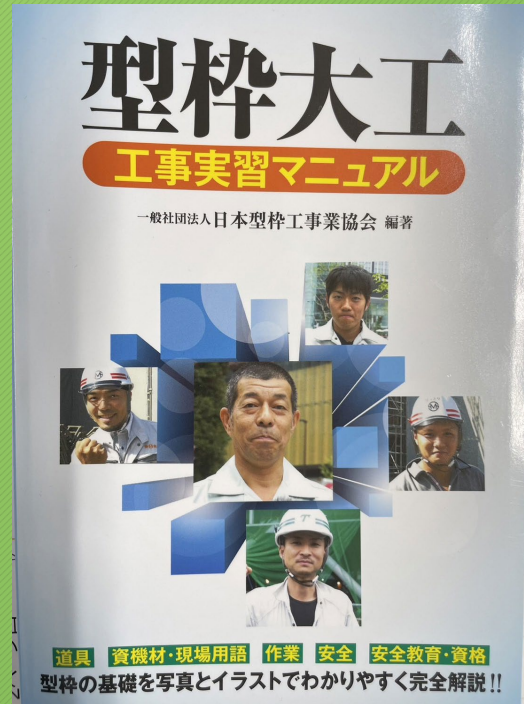
※会場は組合員の会社の事務所、資材倉庫にて開催

【日程】

【講習資料】

【図面】

企業実習実施計画		2022年6月27日～6月30日（4日間）	
【定枠】	指導内容	指導者（組合窓口は 原則全日・終日）	
6月27日	午前 ① 9:15～10:55 (国字型枠工事について)	加古・澤村・渡会 (吉)	
	② 11:05～12:00 (安全注意事項・実習準備)		
	午後 ③ 13:00～14:40 (実習)	南野・佐藤 (吉富)・藤・渡会 (岡)・高橋 (F77)・高橋 (高)	
	④ 15:00～16:30 (実習)		
6月28日	午前 ① 9:00～9:40 (実習)	渡会 (岡)・佐藤 (吉富)・ホシノ・濱井田・澤村	
	② 9:50～12:00 (実習)		
	午後 ③ 13:00～14:40 (実習)	渡会 (岡)・佐藤 (吉富)・谷田川・黒木	
	④ 15:00～16:30 (実習・解体・片付)		
6月29日	午前 ① 9:00～9:40 (実習・解体・片付)	渡会 (岡)・佐藤 (吉富)・南野・黒木・佐藤 (協和)	
	② 9:50～12:00 (5文実習)	渡会 (岡)	
	午後 ③ 13:00～14:40 (加工部作成について)	明竹・加古	
	④ 15:00～16:30 (ディスプレイ)	※会社案内等持参して頂き参加可視な方	
6月30日	午前 ① 9:00～9:40 (国字鉄筋工事の基礎)	飯島・松本・佐藤・中尾	
	② 9:50～12:00 (鉄筋組立説明)	飯島・岩田・清水・原田	
	午後 ③ 13:00～14:40 (鉄筋組立実習)	飯島・岩田・山本・井上	
	④ 15:00～16:30 (鉄筋解体ディスプレイ)	飯島・松本・佐藤・中尾	



【1日目】型枠

【座学】



【加工実習】



【2日目】型枠

【柱・壁・梁・床型枠組立】



【3日目】型枠

【ラス型枠組立】



【ディスカッション】



【4日目】鉄筋 愛知鉄筋業組合

【座学】



【鉄筋組立】



まとめ 1

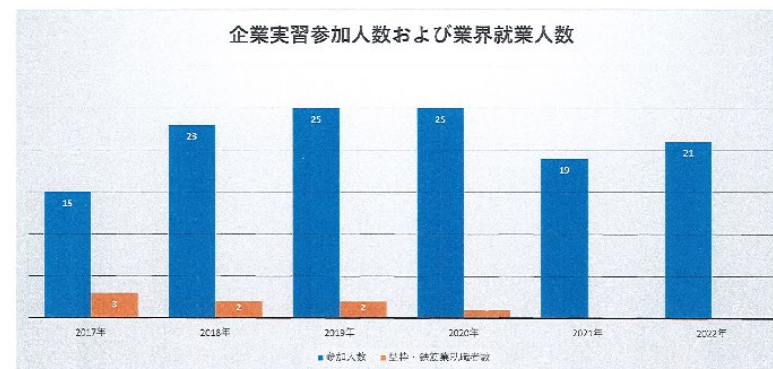
【助成金の使途】

- 実習教材費（座学資料）
- 実習教材費（加工手間）
- 実習材料費
- 講師料
- 会場使用料 他

【活動開始からの実績】

名古屋高等技術専門学校企業実習

2022年6月10日



2017年度より、名古屋高等技術専門学校の学生（1年）を対象に企業実習を行ってきました。開始年度以降、2月に企業実習を開始するにあたり一定数の内定者を獲得することが出来ていましたが、コロナの影響もあり以降は他企業での就職活動が早まり、実習の効果が薄れてきています。その為、2022年度より時期を早め6月附催とし、学生には早期に型枠や鉄筋業に触れてもらうことで、再度就職希望者の増加を図る。

まとめ 2

【活動成果】

今回21名の学生に型枠・鉄筋工事が建物を造る過程でどんな役目を果たしているか理解してもらえたと思います。残念ではあるのですが、この年は入職者はいませんでした。この活動を始めてから累計で8名の方が我々の業界に入職して頂けました。

学生の中には女性も多く、我々の業界に興味を持ってくれる方もいます。昨今の建設現場には女性の進出も多く、型枠・鉄筋も現場作業だけでなく加工図の作成や材料の拾い出し等、結婚・育児をしながらでも出来る作業もあるので大いに期待出来ると思います。

この活動を継続すれば若手技術者の入職率向上に繋がると思います。

(この学校の卒業生には別々の型枠会社に就職し数年後に偶然同じ建設現場で再会しその後結婚された方もいます)